

別紙 1

選定方法を非公募とした理由

札幌市稲寿園（以下「稲寿園」という。）については、特別養護老人ホームであり、認知症等の特別な配慮を必要とする方が入所している。

入所者に対し適切なサービスを提供していくためには、入所者と施設職員との間に継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、入所者の生活の維持・改善のためには、長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積が必要である。

このため、指定管理期間の満了により、指定管理者が変更されると、稲寿園の管理運営に重大な支障をきたすおそれがある。

現在の指定管理者である、社会福祉法人札幌慈啓会による稲寿園の管理運営については、入所者の心身の状況に応じた適切なサービスの提供を行っていること、また、入所者アンケートの結果も良好であることから、施設の設置目的に基づき良好に行われていると認められる。

以上から、稲寿園について、選定方法を非公募とし、同法人に申込みを求めた。

別紙 2

札幌市稲寿園の指定管理者の選定結果について

1 選定委員会開催経過

第1回 令和4年8月7日 募集要項、選定方法等について

第2回 令和4年10月7日 面接審査、選定

2 選定委員会委員

委員5名（市職員1人、外部委員4人）

委員長 松原良次 札幌花園病院院長

委員 次木円 南区第1地域包括支援センター長

委員 中村泰道 公認会計士

委員 華岡恵 社会保険労務士

委員 西村剛 高齢保健福祉部長

3 応募団体

社会福祉法人 札幌慈啓会（※現指定管理者）

非公募により応募を求めた理由：別紙1のとおり

4 選定結果（指定管理者候補者）

(1) 選定された団体

社会福祉法人 札幌慈啓会 代表者 理事長 太田 眞琴

札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号

(2) 選定の理由

ア 安定した経営基盤及び施設の管理運営に係る十分な実績を有しており、令和5年度以降も良好な管理運営が期待できる。

イ 個々の入所者の状況に応じた処遇が適切に行われるとともに、レクリエーション、利用促進のための取組等が充実しており、施設の設置目的を確実に達成する見込みがある。

ウ 入所者・家族アンケートの実施、入所者懇談会の開催等を通じて、入所者の要望等を幅広く取り入れ、サービスに反映させる体制が確立しており、サービスの質の維持及び向上を着実に実現する見込みがある。

(3) 評価結果

選定基準	基礎配点	候補者
①平等利用の確保	5点	4.50点
②施設の効用発揮	70点	58.75点
③安定経営能力	60点	54.75点
④管理経費の縮減	40点	22.25点
⑤その他	25点	16.75点

合計	200 点	157.00 点
得点率	—	78.5%